

【様式3】

第5期下川町総合計画実施事業調書（後期基本計画）

拡充

事業名	地域商業再生事業			事業コード	
担当課	環境未来都市推進課	担当グループ	商工振興グループ	担当者	神尾一幸
施策	商工業		推進施策	中小企業の振興	

①事業の概要

(1)事業の目的(何のためにこの事務事業に取り組むか)	
■旧駅前通りから基線通り、国道に向けた商店街のにぎわいを創出します。	
(2)現状と課題(過去と現在との比較や、課題、今後の予測、町民ニーズなど)	
■上記商店街地区は、下川町の中心的商店街でしたが、廃業、空き店舗が増加し、かつてのにぎわいは見られません。また、市街地唯一の旅館も廃業したことから、町外からの来町者の宿泊施設の確保が急務となっています。	
(3)事業内容・事業量(事業内容・事業量など、継続事業については変更内容も記載)	
■宿泊施設の整備を緊急に行うことで、来町者が市街地に宿泊することによる交流人口の確保を図ります。また、空き店舗の活用によるチャレンジショップや、お年寄りが寄り合い、くつろげる場所の確保などの整備を行います。	
(4)実施期間	(27 年度～ 30 年度)
(5)実施主体	下川町

②事業にかかる経費

会計名		一般会計					款	6	項	1	目	1	単位:千円	
年度	基準年	実行計画期間					展望計画期間					期間合計		
	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	計	31年度	32年度	33年度	34年度	計			
事業費	4,900	20,000	230,000	20,000	20,000	290,000	0	0	0	0	0	290,000		
事業費内訳	投資的事業	4,900	20,000	230,000	10,000	10,000	270,000					270,000		
	補助費等				10,000	10,000	20,000					20,000		
	扶助費						0					0		
	繰出金						0					0		
	その他						0					0		
財源内訳	国道支出金		10,000	115,000	9,000		134,000					134,000		
	地方債			114,000	9,000		123,000					123,000		
	その他						0					0		
一般財源	4,900	10,000	1,000	2,000	20,000	33,000	0	0	0	0	33,000			
特記事項	H27：実施設計等 H28：宿泊施設整備 H29～H30：空き店舗活用等													

③事業を実施したことにより期待される成果

■市街地の商店街のにぎわいを取り戻すことで、商店街の活性化、お年寄りを含めた町民同士の交流、高校生などがチャレンジショップを活用することで異世代間交流、町外からの来町者による交流拡大、地域経済効果への波及が期待できます。	
--	--

活動指標(事業量や実施回数など活動量)							
指標名	市街地宿泊者数						
指標式	過去実績から推計						
区分	基準年(H26)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(H30)	単位
目標値	4,000	0	1,000	4,000	4,500	4,500	人(延べ)